

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 看護師等養成所教育環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

康福祉部 医療福祉連携推進課 看護係 電話番号：058-272-1111(内2537)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 11,917 千円 (前年度予算額：266,946 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	266,946	0	0	0	0	0	0	240,200	26,746
要求額	11,917	0	0	0	0	0	0	0	11,917
決定額	9,500	0	0	0	0	0	0	0	9,500

2 要 求 内 容

(1) 衛生専門学校

ア 要求の趣旨(現状と課題)

衛生専門学校は昭和29年4月に岐阜県立高等看護学院(看護婦3年課程)として開設され、以後、60年以上に亘って医療人材を輩出している歴史ある医療専門の県立学校である。

施設の耐用年数を65年とした場合、平成45年度までの残り16年間で今後県立学校として運営していくうえで安全性確保や機能維持は必要不可欠なことから、計画的に校舎施設・設備の改修を行う。

イ 事業内容

概算事業費

- ・平成29年度 実施設計 10,600千円
- ・平成30年度 外壁等改修工事(南棟) 147,297千円
- ・平成31年度 外壁等改修工事(北棟) 86,223千円
 - ① 外壁等改修工事(北棟) 84,345千円
 - ② 駐車場舗装工事 1,878千円
- ・令和2年度 受変電設備改修実施設計 1,057千円
- ・令和2年度 受変電設備改修工事 12,637千円

(2) 多治見看護専門学校

ア 要求の趣旨(現状と課題)

県立学校として運営していくうえで安全性確保や機能維持は必要不可欠なことから、計画的に校舎施設・設備の改修を行う。

イ 事業内容

概算事業費

・平成30年度	実施設計	2,782千円
・平成31年度	空調設備改修工事（本館棟）	48,661千円
・令和2年度	トイレ改修工事	2,540千円（UD事業分）

(3) 下呂看護専門学校

ア 要求の趣旨（現状と課題）

下呂看護専門学校の校舎、寄宿舍は昭和59年の建築後35年を経過し老朽化が進んでおり、今後も県立学校として運営していくうえで、安全性確保や機能維持は必要不可欠であることから計画的に校舎施設・設備の改修を行う。

イ 事業内容

概算事業費

・平成31年度	内線機器等更新工事	1,950千円
	中央監視装置修繕工事	8,018千円
・令和2年度	空調設備改修工事实施設計	5,504千円
・令和3年度	空調設備改修工事	115,975千円
・令和4年度	給水管及びトイレ改修工事、 機械棟外壁等改修工事、照明LED化工事、 階段補修工事（UD化） 実施設計	11,917千円
・令和5年度	給水管及びトイレ改修工事、 機械棟外壁等改修工事、照明LED化工事、 階段補修工事（UD化） 工事	209,411千円

(4) 大垣市医師会看護専門学校

ア 要求の趣旨（現状と課題）

県有施設として大垣市医師会に貸付け、西濃地域の看護師養成の責務を担う看護専門学校として運営していくうえで、安全性確保や機能維持は必要不可欠なことであることから、計画的に校舎施設・設備の改修を行う。

イ 事業内容

概算事業費

・平成31年度	空調設備改修工事实施設計	4,183千円
	外壁改修工事实施設計	4,725千円
・令和2年度	空調設備改修工事（債務R2-R3） （事務費）	0千円 192千円
	外壁改修工事	44,196千円
	トイレ及び配管改修工事实施設計	6,605千円
・令和3年度	空調設備改修工事（債務R2-R3） （事務費）	84,420千円 192千円
	トイレ及び配管改修工事	76,409千円
	仮設トイレ設置費	4,000千円

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設中長期保全計画に基づく計画的な改修のため、県費による負担が適当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	46	現地調査等にかかる職員旅費
需用費	22	現地調査等にかかる燃料費等
役務費	33	連絡調整費
委託料	11,816	実施設計委託料
工事請負費	0	改修工事費
その他	0	
合計	11,917	

決定額の考え方

照明工事については、優先順位を鑑み計上を見送ります。
UD化分については、管財課に集約して計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○県有施設中長期保全計画

- ・平成30年度：衛生専門学校南校舎における外壁等改修工事
：多治見看護専門学校空調設備改修にかかる実施設計
- ・令和元年度：衛生専門学校北校舎における外壁等改修工事
：多治見看護専門学校空調設備改修工事
：下呂看護専門学校内線機器更新等工事ほか
：大垣市医師会看護専門学校における空調設備改修及び外壁改修にかかる実施設計
- ・令和2年度：衛生専門学校受変電設備改修工事
：多治見看護専門学校トイレ改修工事
：大垣市医師会空調設備改修工事（債務工事R2-R3）、外壁改修工事、トイレ及び配管改修工事实施設計
：下呂看護専門学校空調設備改修工事实施設計
- ・令和3年度：大垣市医師会空調設備改修工事（債務工事R2-R3）、トイレ及び配管改修工事
：下呂看護専門学校空調設備改修工事
- ・令和4年度：下呂看護専門学校給水管・トイレ改修工事实施設計、照明LED化工事实施設計
- ・令和5年度：下呂看護専門学校給水管・トイレ改修工事、照明LED化工事

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 看護師等養成所の営繕工事等を実施することにより、利用者に安全・安心な修学・執務環境を提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

営繕工事等が必要な状況となった場合に事業実施するため指標は設定しない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 R2年度は、衛生専門学校において、受変電設備改修、多治見看護専門学校において、ユニバーサルデザインへの対応としてトイレ改修工事、下呂看護専門学校において、空調設備改修工事の実施設計、大垣市医師会看護専門学校において、トイレ及び配管改修工事实施設計並びに外壁等改修工事を実施。 これらの改修工事等により、学生、来校者等の安全確保が図られる。</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>看護師等養成所利用者の安全・安心な教育環境を確保するため、営繕工事等の実施が必要となる。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>これまでの営繕工事等により、看護師等養成所利用者の安全・安心な教育環境の実現が図られる。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>営繕工事等の実施検討にあたっては、庁内関係課と連携を行い、適切で効率的な実施方法を適用している。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 看護師等養成所は、主な建物が建築から30年以上が経過しており、今後も営繕工事等の対応が必要となっている。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 必要な営繕工事について、早めの対応により計画的な実施を図る。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例：人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
